

# 本校生徒はどのように考えているか

研究部

出石 隆 鏑木 光朗 玉鉾 良三  
能崎 克己 竹内 昭 高松 富子

## 調査の意義

近来、入学試験がとみに困難になるにつれ、高校生の念頭に常に入試の事が考えられ、以前の高校生に比し、所謂思考するという事に乏しい。学業以外の読書（狭い意味）の時間も少ないようである。

生徒が個人的に教師に接して話しかける話題もどの大学に進学するか、そのためにはどのような勉強をしたらよいかというような事が最も多いようである。それでは、はたして生徒はどのような事を考えているだろうか。この問題に対して若干なりとも生徒の考えをまとめられたらと思い、又それによって今後の生徒指導の資料になればと考え着手した次第である。

ここでは集計等の関係より、広くどのような事を考えているのかというのではなく、以下の項目についてのみ限定して、これに関してどのように考えているかを調査した。

	一 年			二 年			三 年			全 生 徒		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
在 籍 者	115	49	164	120	37	157	115	43	158	351	131	482
調 査 人 員	115	49	164	115	36	151	90	40	130	320	125	445

## 調 査 項 目

(一) 次の諸問題について、あなたにとって最も関心の強いものから順に3つだけえらび1, 2, 3と〔 〕の中に記入しなさい。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> a 私個人の将来に関する問題 | <input type="checkbox"/> b 友人との交際に関する問題 |
| <input type="checkbox"/> c 家庭の幸福に関する問題  | <input type="checkbox"/> d 学校の在り方に関する問題 |
| <input type="checkbox"/> e 社会の混迷に関する問題  | <input type="checkbox"/> f 日本国の運命に関する問題 |

(二)

- |                      |        |                   |       |        |
|----------------------|--------|-------------------|-------|--------|
| A 新聞の第一面を読みますか       | 毎日読む   | 大体読む              | 時折り読む | 全然読まない |
| 社説を読みますか             | 毎日読む   | 大体読む              | 時折り読む | 全然読まない |
| B ラジオのニュース解説を聞いていますか | 毎日聞く   | 大体聞く              | 時折り聞く | 全然聞かない |
| C 現在の政治について          | 満足している | 十分ではないがこの程度で仕方がない | 不満    | 関心なし   |
|                      | 主な理由   |                   |       |        |

D 右の政党のどれを支持しますか 自民 社会 共産 その他 特になし  
主な理由

E アメリカとソ連の対立に対してどのような感じをもっていますか

F 中共貿易についてどう思いますか

(三)

A わが国は新憲法で、国の交戦権を否定していることを知っていますか  
知っている 知らない

B これは国の自衛権をも否定していると思いますか  
思います 思わない わからない

C 現在の自衛隊は必要と思いますか  
必要である 必要でない わからない

D 自衛隊の組織は現在の程度でよいと思いますか  
十分である 多すぎる 足りない わからない

E 自衛隊が原子兵器を持つことについてどう思いますか  
持つべきである 持つてはならない わからない

F その他自衛に対する意見

(四)

A 公務員は団体交渉も争議もできない、これについてどう思いますか  
当然である 団体交渉のみを認めてもよい 争議も許してよい わからない

B 公共企業体（国鉄、専売など）労組には団体交渉権はあるが争議はできない、これについてどう思いますか  
当然である 争議も許してよい 団体交渉も認めるべきでない わからない

C 国鉄労組では時々実行行使を使っている、これについてどう思いますか  
当然である 好ましくないが止むを得ない 利用者に迷惑をかけない程度ならよい  
よくない わからない

D 私営企業の労組では原則として上の二つの権利はともに認められている、これについてどう思いますか  
当然である 争議は認めてもよいが場合により制限すべきである  
団体交渉権のみを認め、争議は許さない 団体交渉権も認めないのがよい  
わからない

E 例えば北陸鉄道労組のように公共的性格を持つ企業の労働争議についてどう思いますか  
当然である 公共に迷惑をかけぬ限りならよい ある程度の迷惑は止むを得ない  
よくないことである わからない

F 労働者の争議はどのような問題ならばよいと思いますか  
政治問題 経済問題 労働問題 その他

G 結論的に労働争議についてどう考えますか

(五)

A 異性の友達に対して同性と同じ様にスムーズに話し出来ますか  
出来る 大体出来る しばしば一寸ひっかりを感じる 出来ない

B 授業中座席の近くの異性を意識しますか  
全然意識しない 時々意識する 意識する ひどく意識する

C 友情以上に心をひかれる異性がいますか  
ある ない ある時はその異性は 同クラス生徒 同学年生徒（他クラ



- へ 世の中の不正をおしおけて、どこどこまでも清く正しくらす  
 ト 流行などにまよわされず「断じてわが道を往く」という態度でくらす
- B もしあなたが大学進学を志すとすれば、その理由と思われることを下に列挙してみました、そのうちあなたに該当するのを五つえらんで符号を○でかこみなさい
- a 大学卒という資格を得て、社会で縦横無尽に活躍したいから
  - b 自分では格別進学したくはないが、他の者があまりすすめるから
  - c 国家社会に貢献できる人物になりたいから
  - d どんな生き方をすべきか、それが分るまで学校生活を続けたいから
  - e 大学を出ればよい結婚ができ、楽しい生活を送ることになるから
  - f 利益の多い職業につくには専門的な知識や技術が必要だから
  - g めざす大学を卒業していざというときに役立つ資格をとりたいから
  - h その大学に入って、周囲の人々をあとといわせ尊敬されたいから
  - i もっと学問をし真理をさぐり自分のもっている疑問を解決したいから
  - j 友人の多くが志すのだし、今日では大学進学が普通のように考えられているから
  - k 一段と一般教養を高め、人格の向上をはかりたいから
  - l 大学を出ないと、社会に出てから有利な職業につけないから
  - m その大学の学風をしたい、そうしたふんいきの中で青年期を充実したいから
  - n 高校だけで就職したり家庭にいるのもつまらないから
  - o 大学を出ないと成功者になれず、生活の安定が得られないから
- その他（理由をかきなさい）
- C 尊敬する人の名前をあげなさい
- D 自分が最も希望する職業と地位

### 調 査 結 果

以下に集計結果を述べるが、紙面の都合により目だったもののみ詳しい数値を示すが、他はその概要を述べる事にする。

#### (→) 関 心

	一 年								二 年								三			
	男子 (115人)				女 子(49人)				男 子(115人)				女 子(36人)				男 子(90人)			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
a	64	16	9	89	30	9	5	44	83	15	8	106	25	5	0	30	53	15	4	72
b	11	20	20	51	7	17	10	34	13	34	28	75	1	10	8	19	4	20	12	36
c	10	22	13	45	8	12	9	29	4	36	18	58	2	7	7	16	7	23	18	48
d	0	7	13	20	1	1	7	9	0	8	9	17	0	1	3	4	0	2	3	5
e	6	17	23	46	2	6	5	13	3	10	18	31	1	3	12	16	3	12	20	35
f	12	17	22	51	1	0	8	9	4	11	28	43	0	2	9	11	11	6	23	40

年				全 生 徒															
女 子(40人)				男 子 (320人)					女 子 (125人)					総 計 (445人)					
1	2	3	計	1	2	3	計	%	1	2	3	計	%	1	2	3	計	%	
29	5	0	34	89	106	72	267	83	44	30	34	108	87	133	136	106	375	85	
4	14	7	25	51	75	36	162	51	34	19	25	78	63	85	94	61	240	54	
1	12	10	23	45	58	48	161	50	29	16	23	68	54	84	74	71	229	52	
0	1	4	5	0	17	25	42	13	1	3	5	14	14	29	21	10	60	13	
0	1	4	5	46	31	35	112	35	13	16	5	34	27	59	47	40	146	33	
0	1	9	10	51	43	40	134	42	9	11	10	30	24	50	54	50	164	37	

上表より明らかなの如く、日本の運命というような事には殆んど関心がない。友人に関する問題は1、2年の間には殆んど変化がないが、3年になると（特に男子）友人関係より家庭の幸福という事に関心度が高まってゆくようである。概して、女子が男子にくらべ友人関係に関心があるようである。

(二) 政治

A 新聞

	全 生 徒					
	男子320		女子125		計 445	
毎日読む	128	40.0%	9	7%	137	31%
大体読む	109	34.0%	43	35%	152	35%
時折り読む	73	22.8%	65	52%	138	31%
全然読まない	5	1.6%	6	5%	11	3%

C ニュース解説

	全 生 徒 445					
	男 子		女 子		計	
毎日聞く	47	15%	19	15%	66	15%
大体聞く	93	29%	30	24%	123	28%
時折り聞く	125	39%	60	48%	185	42%
全然聞かない	45	14%	10	8%	55	12%

D 支持政党

	全 生 徒					
	男子320		女子125		計 445	
自 民 党	81	27%	22	18%	103	24%
社 会 党	73	23%	27	22%	100	23%
共 産 党	9	3%	2	2%	11	3%
の 他	3	1%	1	1%	4	1%
そ の 他	131	41%	67	54%	198	45%

A, Bの項については、全然読まないとか、全然聞かない生徒がいるのには驚かされる。Cの項について不満なものの主な理由は資本家のみ有利な政治で米国の植民地的色彩が強いというようなものである。

Eの項については平和共存を望む、相手国を理解せよという意見が大半である。

Fの項については米国に遠慮しないで行えというのが多い。

概して、この(二)の項は男女、学年の差により大した変化はないようである。

(三) 自衛

A 交戦権

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
知っている	309	97%	108	87%	417	94%
知らない	11	3%	17	13%	28	6%

社説

	全 生 徒					
	男子320		女子125		計 445	
毎日読む	17	5%	12	10%	29	7%
大体読む	45	14%	19	15%	64	14%
時折り読む	170	53%	51	41%	221	49%
全然読まない	73	23%	40	32%	113	25%

C 現在の政治

	全 生 徒					
	男子320		女子125		計 445	
満足している	4	1%	2	2%	6	1%
十分でないがその程度で仕方がない	122	39%	41	33%	163	37%
関心なし	67	21%	38	30%	105	24%
不満足	116	36%	32	29%	148	33%

B 自衛権

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
思う	116	36%	44	35%	160	36%
思わない	153	49%	55	44%	208	47%
わからない	42	13%	21	17%	63	14%

C 自衛隊の必要

	一 年			二 年			三 年			全 生 徒					
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男 子	女 子	計	%	%	%
必要である	60	11	71	48	9	57	30	13	43	138	43	33	26	171	39
必要でない	49	27	76	52	19	71	40	21	61	141	44	67	54	208	47
わからない	8	13	21	15	8	23	4	5	9	27	8	25	20	52	12

必要である、必要でないという反対意見に大きく分れている事がわかる。小さな学内に於てもこれだから、全国に於いても種々論議があるのもうなずかれる。

特に女子は、はじめから必要でない方が圧倒的に多い。男子はむしろ高学年になるにつれて必要でないと変ってきている。

D 自衛隊の組織

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
十分である	17	21%	12	10%	79	18%
多すぎる	73	23%	39	31%	112	25%
たらない	90	28%	15	12%	105	24%
わからない	73	23%	47	38%	120	27%

E 原子兵器

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
持つべきである	71	22%	13	10%	84	19%
持つてはならない	201	63%	93	74%	294	66%
わからない	33	12%	15	12%	48	11%

F その他の意見

自衛隊は経費が多すぎるから、他の部門へ予算をまわした方がよいという意見が非常に多い。

(四) 労働争議

下表から、わかるように、労働争議全部について、一般大衆に迷惑をかけないなら、ある程度はやむを得ないという意見のようである。

A 公務員の団体交渉

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
当然である	111	34%	31	25%	142	32%
団体交渉のみを認めてもよい	151	43%	54	45%	205	43%
争議も許してよい	43	13%	14	11%	57	13%
わからない	31	10%	23	19%	54	12%

B 公共企業体労組の団体交渉

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
当然である	220	69%	73	56%	293	65%
争議も許してよい	47	15%	34	25%	81	18%
団体交渉も認めるべきでない	21	7%	6	4%	27	6%
わからない	25	8%	20	15%	45	11%

C 国鉄労組の実力行使

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
当然である	13	5%	11	9%	24	5%
好ましくないが止むを得ない	50	16%	12	10%	62	14%
利用者に迷惑をかける程度ならよい	160	50%	67	54%	227	51%
よくない	87	27%	28	22%	115	28%
わからない	7	2%	5	4%	12	3%

D 私営企業の労組の交渉、争議

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
当然である	149	47%	40	33%	189	43%
争議は認めてもよいが場合により制限すべきである	120	38%	49	40%	169	38%
団体交渉権のみを認め争議は許さない	30	9%	15	13%	45	10%
団体交渉権も認めない	4	1%	0	0%	4	1%
わからない	13	5%	14	12%	27	6%

E 公共的性格の企業の争議

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
当然である	16	5%	4	3%	20	5%
公共に迷惑をかけぬ限りならよい	206	64	75	60	281	63
ある程度の迷惑は止むをえない	24	8	6	5	30	7
よくないことである	61	19	25	20	86	19
わからない	8	3	10	8	18	4

F 争議の問題

	全 生 徒					
	男 子		女 子		計	
政治問題	23	7%	5	4%	28	6%
経済問題	141	44	30	24	171	39
労働問題	235	74	85	68	320	72
その他	6	2	4	3	10	2

(五) 男女共学

A 異性との話

	全 生 徒					
	男		女		計	
できる	23	7%	14	12%	34	8%
大体できる	82	26	42	34	124	28
しばしば一寸むっかかりを感じる	109	34	30	25	139	32
できない	91	29	33	27	124	28

B 隣席の異性

	一 年			二 年			三 年			全 生 徒		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全然意識しない	43	37	80	32	23	55	29	17	46	104	33	77
時々意識する	54	15	69	68	10	78	50	20	70	172	55	45
意識する	6	2	8	11	2	13	10	3	13	27	9	7
ひどく意識する	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	1	0

異性とスムーズに話ができるというのは、わずかで殆んどの方が大なり小なり異性を意識しているようである。特に男子は学年が進むにつれて意識する者が多くなっているのに対し、女子の方では学年をとわず意識する割合が少ないようである。

C 友情以上にひかれる異性

	一 年			二 年			三 年			全 生 徒		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
あ	29	12	41	49	11	60	49	13	62	127	36	30
な	76	30	106	61	24	85	41	24	65	178	78	64
い										41	36	30
										56	78	64
										127	163	163
										178	256	256
												38
												59

	全 生 徒					
	男		女		計	
同クラスの生徒	21	16%	11	31%	33	20%
同学年(他クラス)の生徒	38	30	12	33	50	31
上学年生徒	8	6	6	17	14	9
下学年生徒	13	10	0	0	13	8
他校の生徒	34	27	3	8	37	23
その他	13	10	5	14	18	11

友情以上にひかれる異性が案外多いのに驚くが、その大半は同学半の生徒である。なお他校の生徒というのめかなりある。

D 異性の友達との行動

	全 生 徒		
	男	女	計
気がひける	45 14%	33 25%	78 18%
はずかし	32 10	17 14	49 11
てれくさい	77 24	11 9	88 20
ほこらしい	10 3	0 0	10 2
何とも思わない	141 44	60 48	201 45

E 授業中の失敗

	全 生 徒		
	男子	女子	計
より恥しい	29 10%	25 20%	54 13%
別にかわらぬ	275 86	98 79	373 84

F 共学は学習上

	全 生 徒		
	男子	女子	計
プラスになる	105 33%	89 72%	194 44%
マイナスになる	42 14	2 2	44 10
別にかわらない	153 49	27 22	180 41

G 男女共学

	全 生 徒		
	男子	女子	計
よいと思う	148 46%	59 71%	237 54%
悪いと思う	15 5	1 1	16 4
よい点と悪い点を もつと思う	98 32	28 22	126 29
特に考えない	49 18	5 4	54 12

H 性教育

	全 生 徒		
	男子	女子	計
必要と思う	76 24%	22 18%	98 22%
特別必要としない	191 60	68 53	259 58

男女共学に対して、男子は特にどうという事はないが、女子はよいと思う者が圧倒的に多い。性教育については、学校で保健の時間に、専門の先生にしてほしいという者が多いようである。

(内) 道徳教育

A 修身教育内容

	全 生 徒		
	男子	女子	計
a	10 3%	1 1%	11 3%
b	71 22	32 26	103 23
c	120 38	55 44	175 40
d	78 24	29 23	107 24
e	28 9	8 6	36 8

B 道徳教育とは

	全 生 徒		
	男子	女子	計
a	224 70%	87 70%	311 70%
b	76 24	31 25	107 24
c	16 5	5 4	21 5

C 道徳教育への関心

	全 生 徒		
	男子	女子	計
a	61 19%	12 9%	73 16%
b	117 37	52 42	169 38
c	74 23	34 27	108 24
d	15 5	5 5	21 5
e	41 13	19 15	60 14
f	11 3	3 2	14 3

D 道徳教育は

	全 生 徒		
	男子	女子	計
a	78 24%	17 14%	95 22%
b	101 32	52 42	153 35
c	78 24	43 34	121 28
d	34 11	5 4	39 9
e	9 3	0 0	9 2
f	12 4	6 5	18 4



道徳教育の内容について大体的見当はついているようであり、又、半数以上の者は必要と認めているようである。

E

		全 生 徒						全 生 徒					
		男 子		女 子		計		男 子		女 子		計	
正 直 個人の権利 礼 儀 礼 儀 礼 儀 孝 行 孝 行 孝 行 宗 教 宗 教 幸 福 義 務 天 皇	80	25	31	25	111	25	奉 正	75	24	27	22	102	23
	109	34	34	27	143	32	職 業	92	29	27	22	119	27
	91	28	41	33	132	30	金 銭	71	23	28	22	99	22
	106	33	45	36	151	34	由 心	33	101	5	4	38	9
	26	8	11	9	37	8	自 愛	159	49	66	53	225	51
	74	23	36	29	110	25	國 敬	68	21	10	8	78	18
	22	7	5	4	27	6	公 共	14	4	5	4	19	4
	22	7	4	3	26	6	物 潔	146	46	54	43	200	45
	42	13	15	12	57	13	清 物	19	6	9	7	28	6
	215	67	95	76	310	70	時 間	25	8	10	8	35	8
	12	4	2	2	14	3		66	20	32	26	98	22

義務や責任を自覚させる事の最も多いのに対し、天皇をうやまう事が最も少ない。戦前なら大変な事である。

(4)

A 暮らし方

	一 年		二 年		三 年		全 生 徒								
	男	女	計	男	女	計	男 子	女 子	計						
イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト	0	1	1	8	0	8	8	2	10	16	5%	3	2%	19	4%
	8	1	9	8	1	9	4	0	4	20	6	2	2	22	5
	33	17	50	27	14	41	16	21	37	76	24	52	42	128	29
	33	9	42	19	8	27	13	3	16	65	20	20	16	85	19
	4	2	6	5	1	6	4	1	5	13	4	4	3	17	4
8	6	14	10	3	13	11	3	14	29	9	12	10	41	9	
22	9	31	32	5	37	27	7	34	81	25	21	17	102	23	

B 大学進学

各項目を理想主義的傾向、実利主義的傾向、形式主義的傾向に大別して集計すると、次のように理想主義的傾向の者が比較的多いようである。

	一 年		二 年		三 年		全 生 徒								
	男	女	計	男	女	計	男 子	女 子	計						
理想主義的傾向 (c.d.k.i.m.)	266	111	377	251	80	331	211	80	291	728	46%	271	43%	999	45%
実利主義的傾向 (a.f.g.l.o.)	183	45	228	192	43	235	164	48	212	539	34%	136	22%	675	30%
形式主義的傾向 (b.c.h.j.n.)	79	51	130	107	52	159	72	29	101	258	16%	132	21%	390	18%

C, Dに対しては特に目立ったものは得られなかった。しいてあげれば尊敬する人にはネールとか父母が一寸多いようである。

以上調査結果の大略を述べたのであるが、調査項目に対しても、種々異論のある事と思う。それらに関しては又、後日、改めて調査をしたいと思う。例えば如何なる書物を読んでいるか、或いは又個別的な話し合いによって彼等のえがく人間像の追求をもなしたいと思っている。